

illumina Proactiveのプライバシーとセキュリティに関するお知らせ

illumina Proactiveは、装置のパフォーマンスを予防的にサポートする堅牢な遠隔サービスで、業界のベストプラクティスに合致するように設計されています。また、データ保護のさまざまな規制に含まれる、プライバシーとセキュリティの要件に準拠していることが評価されています。

クラウドの証明と認証

illumina Proactiveは、Amazon Web Services (AWS)によって提供される既存のイルミナのクラウドインフラストラクチャーと統合されています。イルミナのBaseSpace Sequence Hubのクラウドアプリケーションスイートは、ISO 27001:2013の年次の監査証明とHIPAAの認証(AT101)を取得していますが、illumina ProactiveはBaseSpace Sequence Hubと同じように管理されています。illumina Proactiveでは、BaseSpace Sequence Hubのアカウントは不要です。

プライバシーの保護

- illumina Proactiveは、イルミナの装置に保存されている、お客様個人を特定する情報や患者様の機密情報にアクセスしたり、転送したりすることはありません。
- illumina Proactiveは、イルミナのすべての装置に対して1つのコマンドスクリーンを使用するため、お客様は一貫した方法で装置を管理できます。たとえば、以下の機能が用意されています。
 - illumina Proactiveを任意のタイミングで無効または有効にすることができます
 - 装置が有効になっている場合にのみ装置のパフォーマンスデータを送信可能で、装置データはカンマ区切りファイルでイルミナの安全なAWSデータウェアハウスに転送されます
- illumina Proactiveは、患者様の機密情報、ゲノムデータ、サンプル識別子にアクセスしたり、そうした情報を保存したりすることがないように設計され、テストされています。

セキュリティ対策

- すべてのデータは、「静止」時にはAdvanced Encryption System (AES)-256を使用して暗号化され、「転送」時にはトランスポートレイヤーセキュリティ(TLS)を通して暗号化されます。
- バックアップのプロセスは年に1度テストされ、第三者機関の監査によって検証されます。
- 新機能の追加時には、完全なソフトウェアリグレッションテストを実施し、アプリケーションが想定通りに動作することを確認しています。
- その他のセキュリティ対策には、例として以下のものがあります。
 - 脆弱性および不正侵入テスト
 - 侵入の検出
 - 権限のアクセス管理
 - ウイルス対策
 - セキュリティパッチの適用

HIPAA

イルミナはHIPAA Business Associateとして、HIPAAのプライバシー規則、セキュリティ規則、および違反通知規則に対応した、各種の包括的なポリシーと手続きを制定して維持することで、HIPAAの規則に準拠しています。イルミナのフィールドサービスエンジニアとカスタマーサポートチームのメンバーは、HIPAAのトレーニングを完了することが義務付けられています。当社はillumina Proactiveに特化した、さまざまなプラットフォームを対象とする複数のHIPAA Business Associate Agreements (BAAs)をAWSと締結しています。

イルミナのグローバルプライバシーポリシー

個人情報の責任ある管理と倫理的使用に対するイルミナのコミットメントは、jp.illumina.com/company/legal/privacy.htmlにある当社のグローバルプライバシーポリシーでご覧になれます。

jp.illumina.com